

目次

『間違いだらけの政治家選び』 無関心とポピュリズム政治が日本を滅ぼす

まえがき 2

第1章 亡国の危機 国民の皆さん、気付いてほしい！

1	迫り来る五つの危機 急速に低下する日本の地位	12
2	迫り来る「2040年危機」 縮小社会にいかに対処するか	16
3	パンダやカジノの裏にあるもの	20
4	待機児童問題の構図 背後にやはり既得権益	23
5	「五公五民」の重税 失政のツケは必ず国民に回される	28
6	ふるさと納税？ 問題の本質は「地方財政制度」にあり	31

第2章 ポピュリズム化する日本政治 形ばかりの民主主義

- 7 決められない政治 生まれては消える「お受験政治家」 | 33
- 8 徒党を組む国会議員 国民不在の離合集散を繰り返す泥船政党 | 35
- 9 選挙権を放棄し、自治を忘れた有権者 | 41
- 10 増税なんてとんでもない 最高の負担軽減策は、増税せず減税すること | 45
- 11 無関心が政治を駄目にする 政治を良くするには、まず国民の意識改革 | 48
- 12 政治の主役は有権者 気付いたら行動しよう | 50
- 13 日本初、会社在职（管理職）のまま立候補 | 53
- 14 首長は完全に無所属・無党派であるべし | 56
- 15 有権者の賢い選択が政治改革と社会変革を進める | 59
- 16 燕雀安んぞ鴻鵠の志を知らんや | 62
- 17 度重なる立候補 その資金とエネルギーはどこから？ | 65
- 18 本物の政治家の見分け方 | 68

第3章 現場から地域から、社会を変える

- 19 加西市長時代の改革と抵抗勢力 ————— 72
- 20 自治体再生に成功するも3選できず ————— 75
- 21 延べ4250万人に理念や政策を訴え続けて ————— 78
- 22 全国最大の自治体選挙 21名が乱立した都知事選 ————— 82
- 23 1年足らずでメッキが剥がれた小池都政 現場・実務を知らずに改革できず ————— 86
- 24 政界のベンチャー&イノベーターとして ————— 90
- 25 なぜ行政にイノベーションが起きないか ————— 92
- 26 「公募区長」という名の外来種 ————— 95
- 27 価値が分からぬ人に公共資産を処分する資格なし ————— 97
- 28 大阪都構想の隠された狙い!? ————— 100
- 29 大阪都構想に欠落したマネジメントの視点 ————— 103

第4章 最新技術を取り入れた次世代のまち『プラチナ都市』

- 30 税金は安くできる 求められる「自治体経営者」 108
- 31 益暗政治が地域や日本を停滞させている 111
- 32 日本社会でイノベーションが起きにくいワケは？ 114
- 33 ドローンや自動運転の次は、「空飛ぶクルマ」（空の自動操縦） 118
- 34 サンディ・スプリングス市 衝撃の「民間市役所」 121
- 35 『プラチナ社会』その① 便利で楽しい街 効率的で質の高い行政 124
- 36 『プラチナ都市』その② 民間サービスとの融合も可能に 127
- 37 行政分野にも活用できるブロックチェーン 132
- 38 電子型地域通貨の可能性 135
- 39 民営化の歴史は古い 国鉄の分割民営化に学ぶ 138
- 40 進む少子高齢化やインフラ老朽化 民間の知恵と活力を 141

第5章 日本を素晴らしい国とするために

- 41 市民が政治の主役であり、自治の当事者だ 148
- 42 現場を重視し、都市全体を「経営」する発想が必要 152
- 43 有権者の役割と責務 未来に対する責任 156
- 44 多選は問題多し ましてや無投票の多選など論外 161
- 45 全国初「選挙条例」のすすめ こんなにある選挙制度の改善策 164
- 46 現行選挙制度の馬鹿げた決まり 公選法は時代遅れ 167
- 47 市民と地域が「自立」するために 市民自治を取り戻す 170

あとがき タンポポのように生きる

173

参考文献

178